

路網整備地域連携モデル事業支援の取組み

平成20年度第2次補正の景気対策として、標記交付金事業を遠野地方森林組合が実施することとなり、用地説明会、現場監督指導補助など支援を行っているので、取組みを紹介します。

【事業概要】

- ・ 開設4路線、延長7,065m、幅員4.0m、事業費98,900千円(14,000円の定額)
- ・ 測量設計は、指名競争入札により、岩手県森林組合連合会が受託(測量設計、積算、現場監督、設計変更対応込み)
- ・ 4路線は市内建設業者が指名競争入札で請負、8月～11月の工期
- ・ 設計、積算は、標準断面方式を採用。

【標準断面方式】

20m毎の横断測量、線形はIP無設定で曲線が想定される箇所はこまめに中心を現地に設定、縦断はハンドレベルで14%以内を目標として選定。

工事の際は、現地の中心線目印、横断図と伐開巾を勘案して、線形(曲線を設定)、縦断を調整し、切盛が大きくならないよう調整を行う。

これにより、丁張掛けが不用となり、現地による土工調整で残土が生じないこと、施工期間の短縮化が図られた。

【支援内容】

この事業は20年度補正の繰越工事となることから、冬季

前に完了することを目標に取り組むこととした。

- ・ 打合せ、現地調査 2回
 - ・ 用地、業者説明会 4回
 - ・ 設計積算等指導 3回
 - ・ 現場監督等指導 3回
 - ・ 現場研修、その他 3回
- 遠野地方森林組合、県森連と連携、調整を行い、現在8割の出来高で、設計変更等事務手続きを進めている。



施工業者4社を集めての研修

【主な指導事項】

壊れない道づくりとして、水対策と盛土転圧等を適切に行うよう指導した。



排水呑口の開削、流木止の設置を必要な状況 改善